

第四十回米穀委員會報告事項

昭和七年十月四日

目次

一 委員・幹事異動ノ件

二 米穀部設置ノ件

三 米穀法中改正法律並ニ其ノ關係法規ノ件

四 米穀需給調節特別會計法中改正ノ件

四二 米穀貯藏奨励ニ関スル件

五 米穀現在高調査改善ニ関スル件

六 昭和六年米穀生産費調査成績及同七年調査進行状況

七 家計費調査進行状況

八 政府米ノ運送

九 米穀輸入許可数量

十 米穀輸出許可数量

十一 内地ニ於ケル米穀輸移出入額

十二 政府所有米現在高

十三 昭和七年度内地ニ於ケル在米見積高

十四 昭和七年度八月末日迄ノ米穀需給状況

十五 朝鮮・台湾ニ於ケル外米輸入額及朝鮮ニ於ケル粟輸入額

十六 米價

(一) 實數

(二) 足取表

十七 外國米産地相場

(一) 實數

(二) 足取表

十八 米ノ作況及收穫高

(一) 内地米第一回豫想收穫高

(二) 北海道及青森縣ニ於ケル稻作概況

(三) 朝鮮米ノ作況及第一回豫想收穫高

(四) 台湾米第一期作實收高

十九

(一) 外國米ノ作況

(二) 本年度麦作況及實收高

(三) 麦作作況

(四) 本年實收高

二 米穀部設置ノ件

第六十二回帝國議會ニ於テ米穀統制ノ實施計畫樹立ニ要ス
スル經費ノ協賛ヲ得タルヲ以テ本年六月二十九日新ニ米穀
部ヲ設ケ米穀法施行及米穀統制計畫ノ調査ニ関スル事務ヲ
掌ラシムルコトトシタリ而シテ米穀部ニハ計畫課資料課調
査課ト改稱セリ米穀課及經理課ノ四課ヲ置キ尚部務ヲ輔ケ
シムル爲顧問ヲ置クコトトシタリ

三米穀法中改正法律並其ノ關係法規ニ関スル件

第六十三回帝國議會ニ於テ政府ハ米穀應急施設法案ヲ提出シタル處衆議院ヨリ米穀法中改正法律案ノ提出アリ種々ノ經緯ヲ經タル結果米穀法中改正法律成立シ之ガ改正ノ要旨ハ(九月八日其ノ公布ヲ見タリ)

(一) 政府所有米中買換ヲ要スル米穀ノ貸付ヲ為シ得ルコトトシタルコト

(二) 米穀法第四條ノ最低價格ハ昭和八年十二月末日迄ハ米穀生産費ニ依ルコトトシテ而シテ右米穀生産費ハ米穀委員會ニ諮問シテ之ヲ定ムルコトトシタルコト

(三) 朝鮮米及台灣米ノ移入ヲ月別平均的ナラシムル爲朝鮮米及台灣米ノ買入売渡ヲ爲シ得ルコトトシタルコト

(四) 粟ノ輸入税ノ増減免除ヲ為シ得ルコトトシタルコト等ノ諸矣ナリ

次ニ米穀法施行令中改正ヲ行ヒ、米穀ノ貸付、最低基準價
格及朝鮮米ノ買入賣渡等ニ関シ新ニ規定ヲ設ケ更ニ米穀法
施行規則ニ付テモ必要ナル改正ヲ行ヒタリ、尚改正米穀法
中ノ粟ノ関税ノ増減免除ニ関スル條項ハ之ヲ朝鮮、台湾及
樺太ニモ施行スルコトトシテ關係勅令ノ制定ヲ見タリ。

(關係法規ハ別冊参照)

四 米穀需給調節特別會計法中改正ノ件

米穀需給調節特別會計法中改正法律案ハ第六十三回
帝國議會ヲ通過シ其ノ借入金ノ限度ハ一億三千萬圓増
額セラレ總額四億八千萬圓トナリタリ而シテ右ノ内三千萬
圓ハ朝鮮米及台湾米ノ移入ヲ月別平均的ナラシムル為
之ヲ買入賣渡、加工貯藏スル為ノ資金トス

四ノニ米穀貯藏奨励ニ関スル件

出来秋ニ於テ米穀ノ貯藏ヲ奨励シ其ノ出廻数量ヲ調節スルコトハ米穀政策上極メテ緊要ナリト認め第六十三回帝國議會ニ於テ米穀貯藏奨励金(五百萬圓ヲ限度トス)交付ノ為豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ為シ得ルノ件ニ付協賛ヲ得タリ

五 米穀現在高調査改善ニ関スル件

米穀現在高調査ニ関シテハ大正二年以來各道府縣ヲシテ之ヲ行ハシメ米穀政策ノ參考資料ニ供シツツアリト雖米穀統制計畫ノ樹立並ニ之カ施行上本調査ヲ一層的確ナラシムルノ要アルヲ認め第六十三議會ニ之カ改善ニ要スル經費ヲ要求シ議會ノ協賛ヲ經タルヨ以テ本年度一二三三四圖(全年分一八三五三七圖)ノ經費ニ由リ來ル十一月一日ノ現在高調査ヨリ調査方法ヲ改善實施セントス改善ノ要案左ノ如シ

一 從來ハ調査ニ関スル法規ヲ缺キタルモ今回米穀法施行規則ニ改正ヲ加ヘ本調査ハ今後法規ニ基キテ之ヲ為サシムルコトトシタリ

二 市町村毎ニ米穀現在高調査員ヲ任命シ區域内ノ調査事務ヲ担当セシムルト共ニ道府縣ニ專任職員ヲ置キ調査員ノ指導監督及集計事務ニ從事セシムルモノトス

三 従来ハ米穀所有者別ニ調査シ且大体ノ見込ヲ爲スニ
止リタルニ今後ハ所在場所別ニ調査シ且米ノ主要
集積場所タル営業倉庫及農業者倉庫等ヨリ、米穀現
在高ノ由告ヲ徴スルニトス

尚本件ニ関シ去ル九月二十日及二十一日、各道支縣主任官協議會
ヲ開催シ調査ニ関スル打合ヲ行ヒ目下専任職員ノ選任等ニ
付手續中ナリ

昭和六年米穀生産費調査成績及同七年調査進行状況

昭和六年米穀生産費ハ全國（沖繩縣ヲ除ク）一〇三〇戸ノ農
家（自作農五一五戸小作農五一五戸）ヲ選定シ一定ノ帳簿
ヲ配布シ調査ヲ開始シタルガ其中ニ戸（自作農各一
戸）ハ途中事故ノ爲調査ヲ中止シタルヲ以テ一〇二八戸（
自作農五一四戸小作農五一四戸）ニ付昭和六年十二月五日
迄ニ其ノ成績ヲ本省ニ報告セシメ取纏メタリ
右調査成績中例外ト認ムベキモノヲ除キタル九七三戸ノ平
均玄米一石當生産費左ノ如シ

自作農 二〇、四二七錢

小作農 一九、九五

自小農通ジ 二〇、一一

昭和七年ニ於テモ前年ト同様全國（沖繩縣ヲ除ク）一〇三
戸ノ農家（自作農五一五小作農五二五戸）ヲ選定シ一定ノ
帳簿ヲ配布シテ調査シツツアルガ稲作々業ノ進捗ニ伴ヒ隨
時判明スル生産費用ニ付テハ豫メ其ノ報告期日ヲ定メ遂次
道府縣廳ヲ通ジテ報告セシムルト共ニ道府縣ニ於ケル専任
職員其他ヲシテ記帳報告ノ實地指導監督ヲ勵行セシメツ
ツアルヲ以テ十一月十日頃ハ大体豫定ノ通調査成績ノ取
纏メヲ完了シ得ル見込ナリ
尚本年當初ノ調査農家中死亡ニヨリ調査ノ繼續不可能トナ
レルモノニ戸ヲ生ジタルガ爲目下調査ヲ續行シツツアルモ
ノハ一〇二八戸へ自作農五一五戸小作農五二五戸トナレリ。

七 家計調査進行状況

家計調査ハ内閣統計局ニ於テ昨年九月一日ヨリ全國十都市
ニ亘リ二千世帯ニ付キ調査ヲ開始シ本年八月迄、一箇年間
各世帯ニ毎月家計簿ヲ配付シ之ニ毎月ノ家計即一家ノ收支
狀況ヲ記入セシメタリ。而シテ地方ニ於ケル調査ノ
狀況ハ大体順調ニシテ昨年九月家計簿ノ記入ヲ開始シタル
世帯中記入ヲ中止シタルモノ僅ニ二百三十餘ノ世帯ニ過キ
ス八月調査ヲ完了セリ。内閣統計局ニ於テハ地方ヨリ送
付ヲ受ケタル家計簿ニ付毎月到着次第之ヲ結果ノ整理ヲナ

シツ、アルヲ以テ之カ結果、整理ハ豫定、十一月中心全部
完了ヲ見ル見込ナリ。

八 政府米ノ運送

昨年末ヨリ北海道及東北地方ノ凶作地ニ對シ政府
所有米ノ拂下ケヲ實行シ來リタルカ其ノ結果
全地保管ノ政府所有古米ハ皆無トナリタルノミ
ナラス尚引續拂下ヲ要スル見込ナリシヲ以テ
青森縣ハ酒田米穀事務所々管ノ昭和五年産
内地玄米二十五万俵ヲ三回ニ分割運送ヲ爲ス
コトトシ其ノ第一回分八万八千餘俵八月中旬ニ
之ヲ終了シ目下第二回分七万三千餘俵ヲ運送
中ナリ

又北海道ハ門司米穀事務所々管昭和五年
産内地玄米二十五万俵ヲ八九月ニ亘リ運送シタ
ル處偶々全地ハ水害ノ襲フ所ト爲リ其ノ被害甚
シク罹災民ハ糧食ノ窮乏ヲ告ゲ人心不安ニ陥

レル旨道廳長官ヨリ報告ニ接シタルヲ以テ直ニ
 部員ヲ派遣シ其ノ實情ヲ調査セシムルト共ニ農ニ
 小樽ニ運送セル政府米中十萬俵ヲ旭川ニ轉送
 スルコトトシ目下實施中ナリ

九 米穀輸入許可數量

	昭和六年十一月	十二月	昭和七年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	計
内地	一石	二	六	四	四	三	六一七、一四五	一八七、六五七	一〇八、一三六	五	(二十九日迄) 一、四四二	九一四、四〇五
朝鮮	二、九三(石)	一五八	二、八一九	四八五	八九	二、三四三	五四	五〇四	六二九	一六四	未詳	一〇、一七六
台湾							二五〇、〇〇〇				未詳	二五〇、〇〇〇
樺太												

備考

内地ニ於ケル米穀輸入許可数量ノ内五月分^中六二七、二四一石
 六月分中一八七、六五五石、七月分中一〇八、一〇五石 合計
 九一三、九〇一石ハ外米取扱組合ニ対シ輸入ヲ許可シタ
 ル分ニシテ、九月一、四四二石中一、四四〇石ハ露領ニ於ケル
 邦人漁業従業員食料、残存米穀ノ再輸入許可
 ナリ

十一 米穀輸出許可数量

年月	内地	朝鮮	台湾	樺太
昭和六年十一月	六八二石	二四一石		
十二月	一、八一六	五六九		
昭和七年一月	一六六	六一一		
二月	二、四六三	二四四		
三月	四〇二	五六二		
四月	一〇、九九五	二五		
五月	九、三七二	二九		
六月	二〇一	二一七		
七月	二、一五五	七〇	二六〇	
八月	一、九七五	八九七	未詳	
九月	五四五	未詳	未詳	
合計	三〇、七七二	三四六五	二六〇	

十一 内地ニ於ケル米穀輸移出入額(單位石)

月	輸 入		輸 出	
	總額	移入	總額	移出
昭和六年十月	六三、一五九	九七、四〇三	一五、八二三	二、四九二
十月	七五、八一六	二六、六五五	八、五八〇	七、二四
昭和六年一月	七一、〇六一	六六、二六三	一、三二六	七、〇六五
二月	八四、三〇三	五二、八六七	二、五五二	四、八〇七
三月	九四、七八〇	五四、九三三	一、九七〇	四、八〇五
四月	七四、六七〇	五四、七九五	二、一三九	二、四一六
五月	一一、二九九	五六、一六七	八、四三二	二、九八五
六月	九五、六七五	四五、〇八七	一、七五〇	一、九七二
七月	八五、一四四	三四、二四六	二、一八五	一、一五一
八月	七五、一六四	四一、九九九	三、〇八九	二、〇七六
九月	二五、六八一	三四、七七三	未詳	未詳
	(上旬迄)	(中旬迄)	未詳	(中旬迄)

輸 入

朝鮮ヨリ

台湾ヨリ

輸 出

朝鮮へ

台湾へ

樺太へ

政府所有米現在高 昭和七年九月末調

所管	米					
	三年産	四年産	五年産	六年産	計	内地白米
東京		七、三六〇	二、五四二	七、九八八	一、〇五七	一、八七四
大阪	五、八九一	一、九二二	三、五八七	八、五四七	一、三三三	一、八〇九
酒田			二、二八二	一、〇一五	三、三九七	三、三九七
門司		九、四三二	二、五三三	六、九七八	三、二四〇	三、二四〇
新潟			一、五六一	九、〇三二	一、〇五九	一、〇五九
名古屋			一、五五九	七、〇五八	二、二七六	二、二七六
本省			九、八六三	二、九八三	一、二一六	一、二一六
合計	五、八九一	二、七四一	一、〇四九	二、一四三	三、三九七	三、三九七

十月以降累計 八五八四四三
 河津更此 四六九、五五七
 六五六一八三
 九九五四〇〇
 三六三、二五四
 二二三、九三四
 四〇、一一五
 七九、三一〇
 二一〇、七九九
 四七三、九九一
 二、三、七二一

十三 昭和七年度内地ニ於ケル在米見積高

(單位石 △印ハ減)

内外産米別及 所有者別	七月一日現在		八月一日現在		九月一日現在	
	本年 度	前年 同期 比シ	本年 度	前年 同期 比シ	本年 度	前年 同期 比シ
内地 民間持 米商人持	一五三〇三二八七	△三、八七四、六六六	一、一五七、八九六四	八〇三五、九三五	△二、八〇四、一六四	
生産者持	三五〇七、八四三	△一、七六、六七八	二、八七〇、〇六四	二、四三七、五八五	△二〇〇、一三九	
地 計	一八八一、一三〇	△三、六九七、九八八	一、四、四四九、〇二八	一〇、四七三、五三〇	△二、六〇四、〇三五	
米 政府持	三、八八六、四二〇	△七、九七、七四九	四、〇一五、三〇三	三、七六七、七一三	△三、五、六六八	
計	三、二六九、七五〇	△三、七七七、七三七	一、八、四六四、三三一	一、四、二四一、三三三	△二、三六八、三六七	
朝鮮米 民間持	九一六、四〇四	四〇七、九八八	七六〇、八八七	六四一、三八二	△一〇、〇一七、二	
台湾米 民間持	八八、二〇〇	三五、二四〇	一六七、〇七四	一七七、六六七	△三三、五九六	
外國米 民間持	九三、二〇八	一、二一六、二	一〇二、五九九	八五、八二〇	△一六、〇〇一	
合計 民間持	一九、九〇、八九四二	△三、三六六、九三二	一、五、四七九、五八八	一、一、三七八、三八九	△二、五五三、四六〇	
合計 政府持	三、八八六、四二〇	△七、九七、七四九	四、〇一五、三〇三	三、七六七、七一三	△三、五、六六八	

輸出移		供給高			内
移出高	輸出高	計	移入高	産額	前年度ヨリノ持越高
台湾へ	朝鮮へ		台湾ヨリ	輸入高	
			朝鮮ヨリ		
八〇	三二四	七四〇一二	二六一二	八三三	九一四〇 <small>千石</small>
六	二四六九	八三九〇一	二二三〇	六七二	五七一七 <small>千石</small>
昭和七年八月分ハ未 詳ニ付見込トス			昭和七年八月 分ハ概数トス		

十四 昭和七年度八月末日迄ノ米穀需給状況

備考

八月一日現在ノ令ハ本年度ヨリ始メテ調査シタルモノナリ

一計

三七九五三六二

△三三四六六七一

一九四九四八九一

一五二四六一〇二

△三三二七七九二

十五 朝鮮、台湾、朝鮮 外米輸入額及

昭和六年七月	十二月	昭和七年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月
朝鮮	三二五	五九五	五四〇	二〇六八	四〇四一	四七九五	四三六四	一四一四	一八八二
台湾	〇	〇	〇	〇	一七、二八七	六九、四三〇	四七、〇二二	一〇、七七四	五、〇八一
朝鮮	四七、四五〇	一二八、三一八	二三一、〇〇八	一〇八、六三〇	一八三、二六〇	二〇五、九一〇	二五一、六〇一	一七七、一三六	六九、二〇九

高	計	〔榊太へ〕
九月一日現在在米高	一五一四六	二三九
差引消費高	五八二八五	五八一
一人當	〇、八八四	二六三
總數量	六三、六七二	一七六九
〇、石	〇、九八〇	未詳
〇、石	〇、九八〇	昭和七年度八月分ハ未詳ニ付見込トス

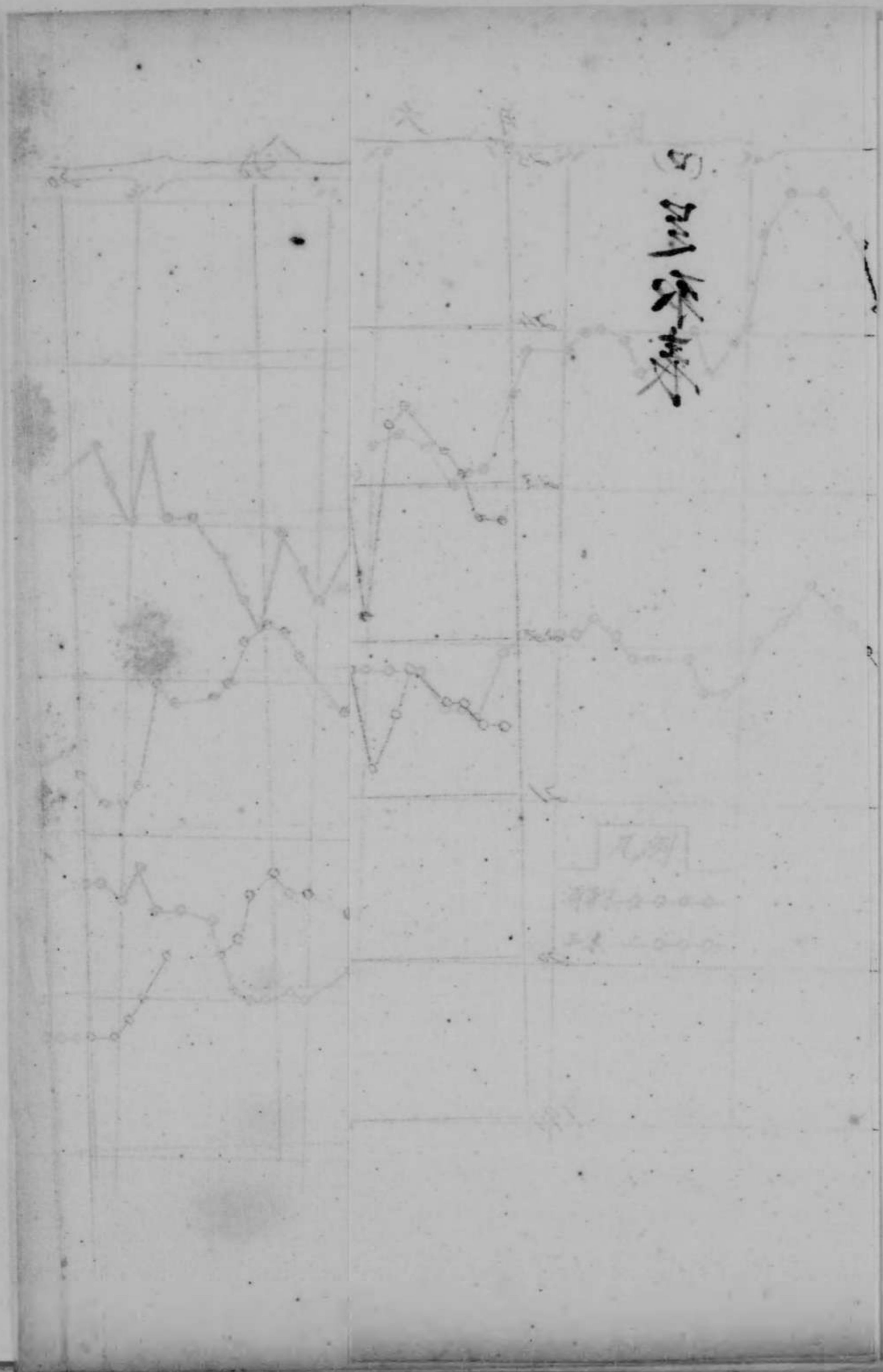
十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	一日	
二一八〇	二一八〇	二一三〇	二一五〇	二一八〇	日曜	二一六〇	二一六〇	二一四〇	二一四〇	正米
二二二〇	二二〇八	二二一八	二二二七	二二四八	—	二二三三	二三一	二二八〇	二二七七	清算米
日曜	二一七〇	二一八〇	二二〇〇	二二二〇	二二三〇	二三四〇	日曜	二二二〇	二二一〇	正米
—	二二八一	二二一七	二二一八	二二五〇	二二六七	二二八六	—	二二八四	二二六三	清算米
二二七〇	二二六〇	二二六〇	日曜	二二四〇	二二四〇	二二三〇	二二三〇	二二一〇	二二〇〇	正米
二二二二	二二〇四	二二一一	—	二一七一	二一八五	二一九九	二一七六	二一四四	二一六九	清算米
二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二一〇	二二四〇	日曜	二二五〇	二二五〇	二二八〇	正米
二二五六	二二七一	二二九五	二二三六	二二五三	二二八三	—	二二四五	二二四六	二二六〇	清算米
							日曜	二二八〇	二二二〇	正米
							—	二二八〇	二二三〇	清算米

十六 米價
 (1) 實教(正米) 米相場清算米(東京清算米先限)

九月
 十月以降計
 前年度比
 (1) 二七
 (2) 四二三
 (3) 一四九、五九四
 (4) 一五八四、五八六
 未詳
 (1) 一九、五三七
 (2) 一五、四三二

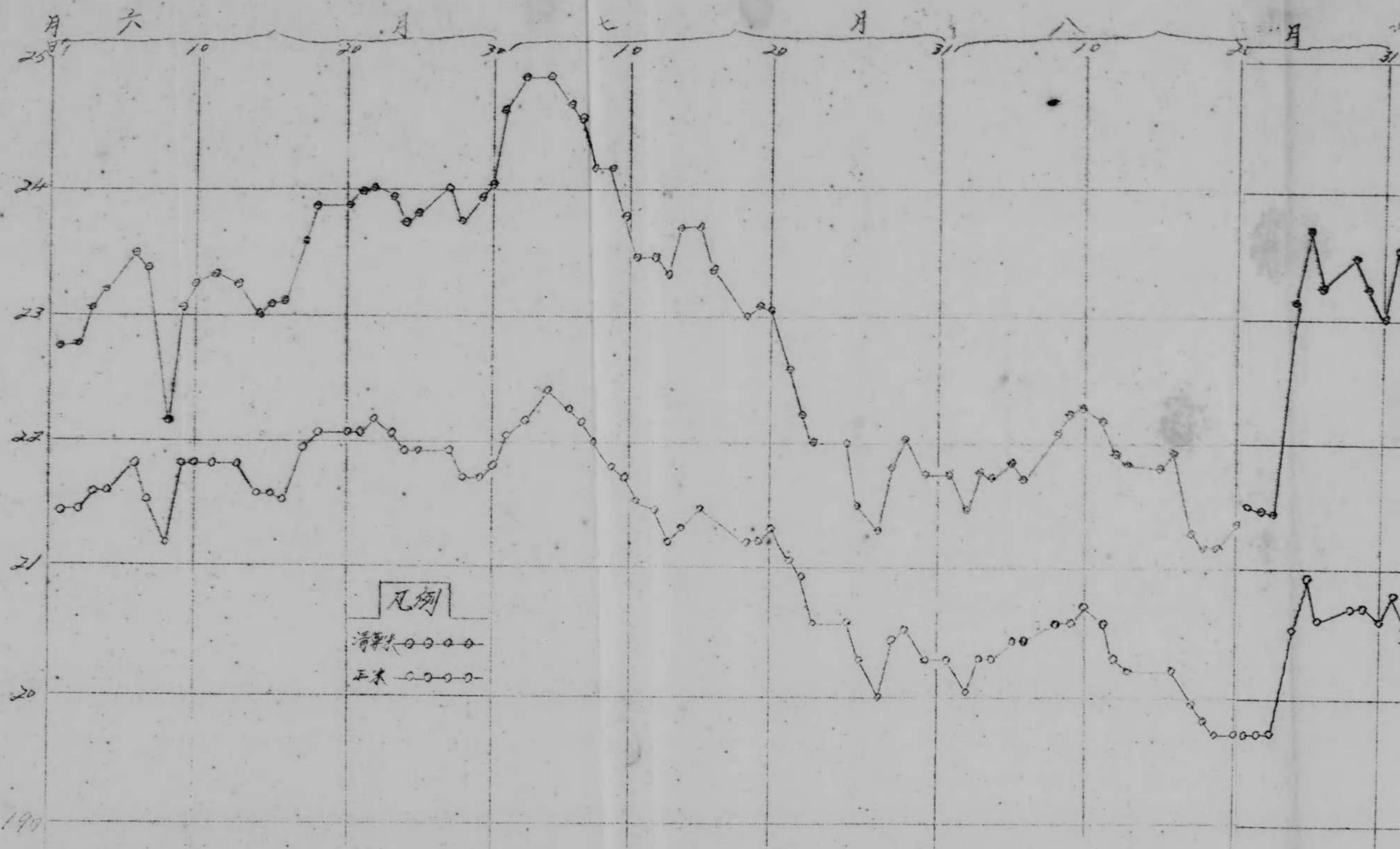
別家帳

心足取表



0000 0621

④ 足取表

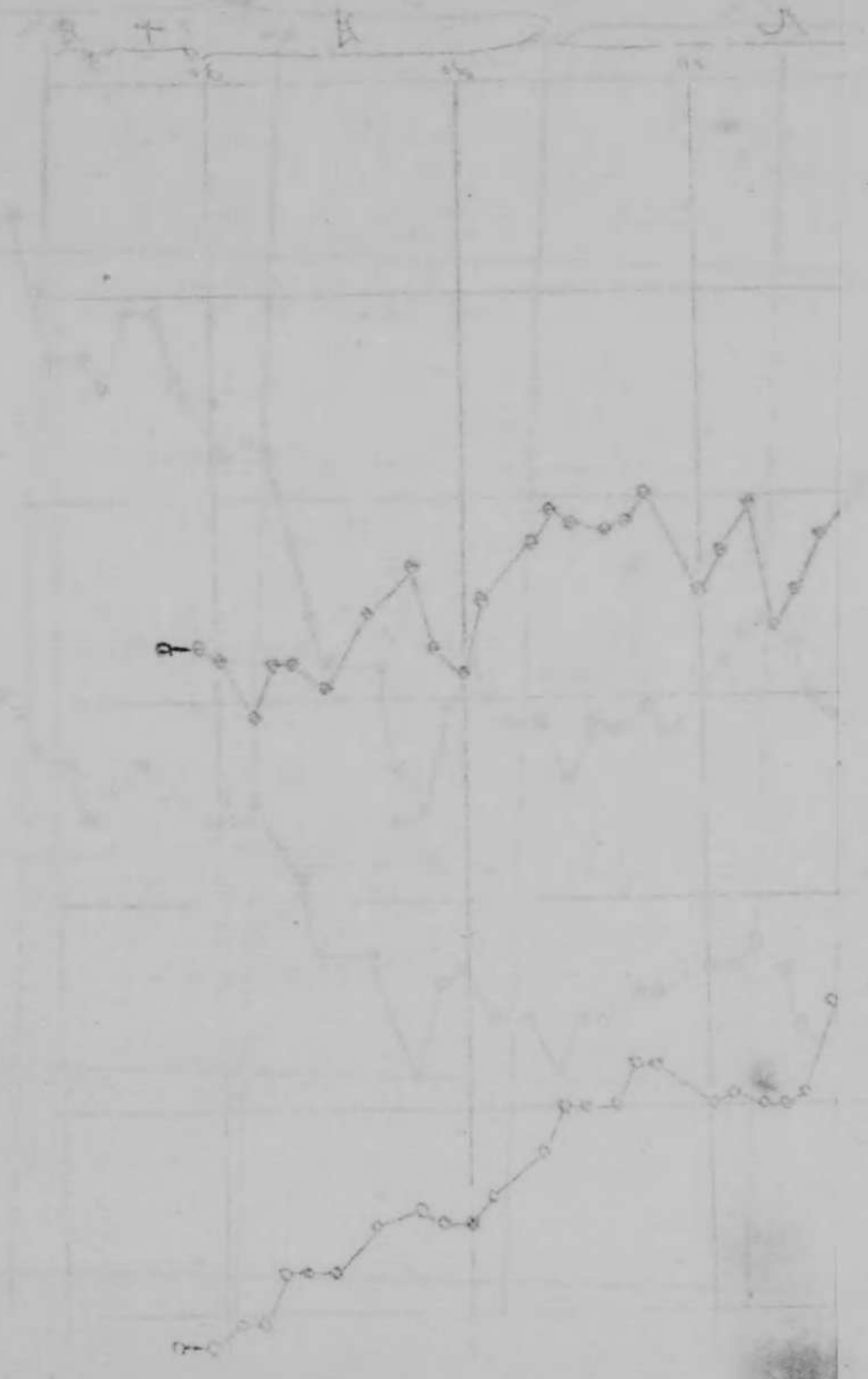


		昭和七年一月							昭和六年十月			
		九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月		
* *		蘭貢白米特等										
(右旬迄)		五、五、七	五、二、五	四、九、〇	五、一、六	五、一、九	五、一、一	五、五、六	四、四、五	四、〇、一	三、三、六	三、三、七
* *		暹羅白米等										
(右旬迄)		五、八、七	五、四、五	五、〇、四	四、四、六	五、一、三	四、七、七	五、〇、六	四、七、六	四、六、八	三、三、七	三、七、六
* *		西貢白米九粒等										
(右旬迄)		五、九、〇	五、六、五	四、六、二	四、七、〇	四、六、七	四、六、八	四、六、七	四、一、九	四、〇、五	三、四、八	三、五、七

十七 外國米產地相場 (產地沖渡値段百斤当)

(1) 安買数

白米



(四) 足取表

円 7.00

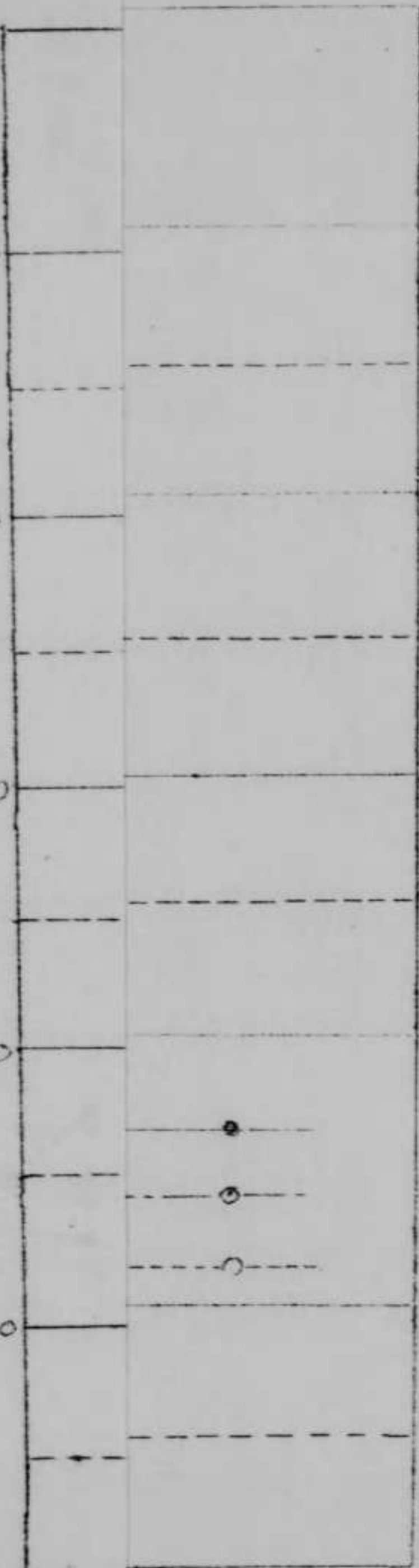
円 6.00

円 5.00

円 4.00

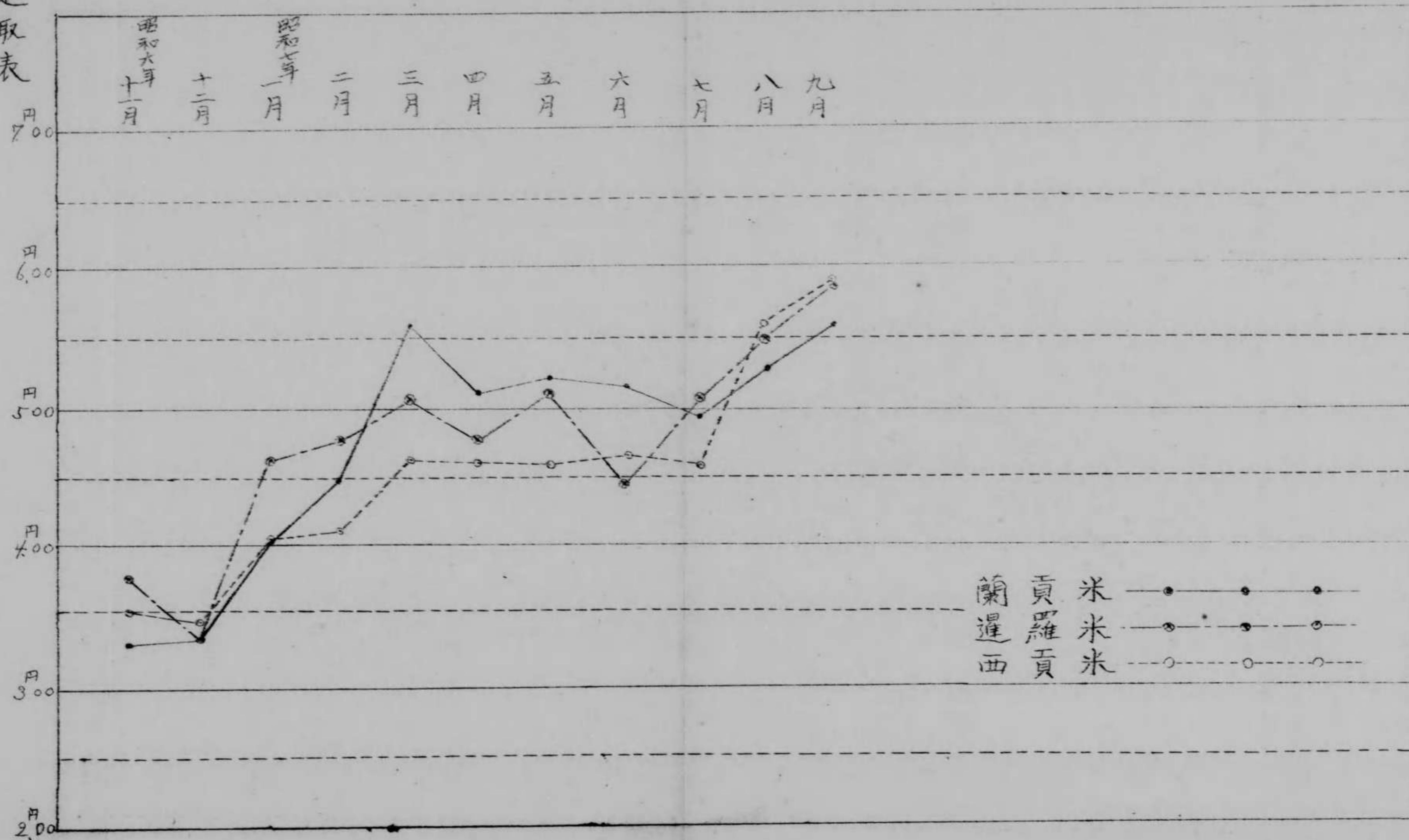
円 3.00

円 2.00



備考 本表ハ領事館ノ報告ニ依ル
但シ米印ハ三井物産株式會社ノ報告ニ依レリ

(四) 足取表



蘭暹西 ●——●——●——
 貢羅貢 ○——○——○——
 米米米 ○——○——○——

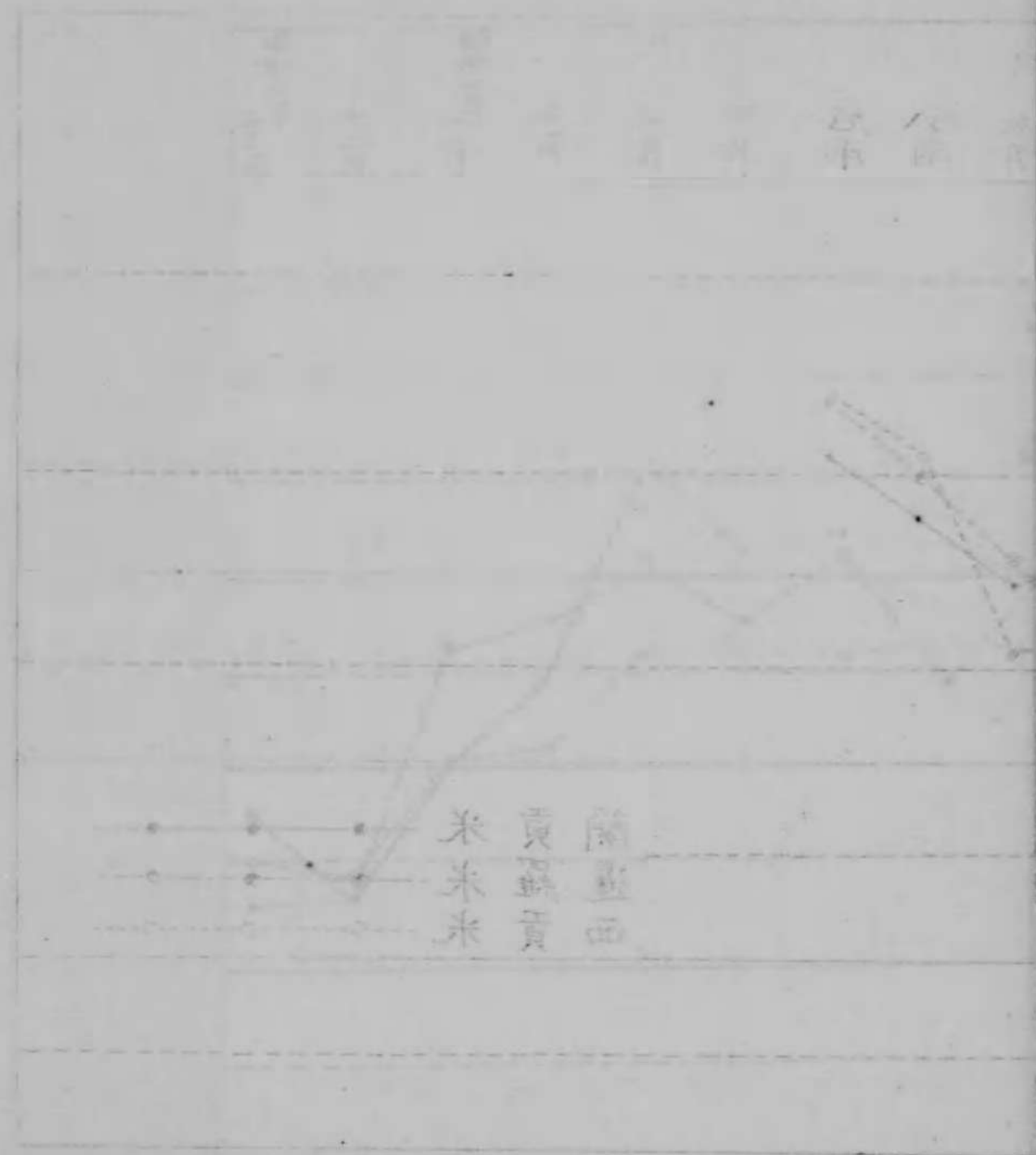
十八 米ノ作況及豫想收穫高 (昭和七年九月二十日現在調)

(1) 内地米第一回豫想收穫高

本年ノ米作付段別ハ三百二十五萬四千八百町一段ニシテ之ヲ前年
作付段別ニ比スレバ六十八町六段(三厘)ヲ増加セリ

而シテ九月二十日現在ニ於ケル豫想收穫高ハ六千五百五十五萬九
千二百九十石ニシテ之ヲ前年收穫高ニ比スレバ六百三十四萬四千
二十七石(一割一分五厘)、前五箇年平均收穫高ニ比スレバ七十四
萬八千四百六十六石(一分二厘)ノ増加ヲ示セリ

蓋シ本年ノ稲作ハ苗代時期ニ於ケル天候概シテ適順ニシテ
苗ノ成育良好ニ進ミ移植後七月中旬ニ亘リテ八日照時少ク
氣温低カリシ爲分蘖伸長充分ナラズ生育思ハシカラザリシ
モ其ノ後天候順調ナリシヲ以テ相當成育ノ回復ヲ見、八月十五
日現在ニ於ケル全國的ノ作況ハ「稍良」ノ狀況ニ了リタリ其



ノ後地方ニ依リテハ開花、結實期ニ至リ降雨、低温ノ為登熟ヲ妨ゲラレタルモノアリ且ツ北海道、青森其ノ他ノ地方ニ於テハ水害ヲ蒙リ、又螟蟲、稻熱病等ノ被害ヲ見タル地方モアリタルヲ以テ前記ノ如キ收穫ヲ見ルベキ豫想ナリ
尚参考ノ為最近五箇年間ニ於ケル作付段別及收穫高ヲ掲グレバ尤ノ如シ

昭和二年
昭和三年
昭和四年
昭和五年
昭和六年
昭和七年

年	作付段別	收穫高
昭和二年	三、一七三、六八三、五	六、一〇二、五四一、石
昭和三年	三、一九一、七三六、一	六、〇三〇、三〇八、九
昭和四年	三、二一〇、六〇四、一	五、九五五、七六九、四
昭和五年	三、二三九、三二一、六	六、六八七、五、五三、五
昭和六年	三、二四八、七一九、五	五、五二一、五、二六、三
昭和七年	三、二二一、六一三、〇	六、〇八一、〇、八二、四
昭和七年	三、二五四、八〇〇、一	六、一五五、九、二九、〇

(四) 北海道及青森縣ニ於ケル稻作概況

一、北海道

六月中下旬頃迄ハ天候概シテ順調ニシテ稻ノ生育良好ナリシガ七月ニ入りテヨリ氣温低下シ降雨多ク陰湿不順ノ天候持續シ爾來生育不良ノ状態トナレリ其後ニ於テモ尚不良天候持續シ收穫皆無ヲ豫想セラレシモ、勘カラズ更ニ稻熱病ノ蔓延甚シク加フルニ八月以降九月ニ亘リ前後八回ノ豪雨ニ遭遇シ石狩天塩地方ヲ中心トシ大水害ヲ蒙リ氣候不良ト水害トノ重積ニ依リ全道全ク稀有ノ大被害ヲ被リ最近発表ノ第一回收穫豫想ニ依レバ平年作ノ四分作ヲ示セリ

二、青森縣

六月中下旬頃迄ノ天候ハ大体北海道ト同様ニシテ稻ノ生

育ハ極メテ順調ナリシガセリニ入りテヨリ降雨多ク陰湿ノ氣候持續シ縣下ヲ通ズル稻作元ハ普通ヲ稱フルニ至レリ然ルニ八月上旬ニ於テ稀有ノ豪雨ニ際會シ縣下各地ニ於テ水害ヲ蒙リ殊ニ北津輕郡西津輕郡ニ於テハ特ニ慘害ヲ蒙リ收穫皆無凡ハ千町歩五割以上減收一万町歩ニ上ルノ慘狀ヲ呈スルニ至レリ

(ハ) 朝鮮米第一回豫想收穫高

移植初期ニ於テハ天候順調ナリシモ七月ニ入り降雨少カリシ爲植付進捗セザリシガ其ノ後天候回復シ作柄順調ニ復シタルヲ以テ之ガ第一回豫想收穫高ハ一六、五二八、五九〇石ト発表セラレ前年實收高及前五ヶ年平均實收高ニ比較シ何レモ左記ノ如キ增收ナリ

前年實收高二比シ 六五五、五九一石 (四分一厘) 増

前五ヶ年平均實收高二比シ 六二五、三八三石 (三分九厘) 増

(ニ) 台湾米第一期作實收高

本年ノ第一期作ハ作柄極メテ良好ナリシヲ以テ其ノ實收高ハ四二二、一四四、七石ニシテ之ヲ前年同期及前五ヶ年平均平均實收高ニ比較スル時ハ次ノ如キ增收ヲ示セリ

前年同期ニ比シ 五九三、〇〇二石 (一割六分) 増

前五ヶ年同期平均ニ比シ 九三八、四三六石(三割九分)増
尚本年實收高ヲ種類別ニ示セバ次ノ如シ

蓬萊種 一八八八、八七三石

在來種 二、三三二、五七四石

計 四、二二一、四四七石

第二期作ハ天候概シテ適順ナリシヲ以テ挿秧順調ニ進歩シ苗ノ活着生育共ニ良好ナリ

(木) 外國米ノ作況

一 蘭貢米

八月中旬ニ於ケル作況ハ降雨ノ爲水害ヲ受ケタル地方アルモ作柄概シテ普通ナリ

一 暹羅米

七月末日現在ニ於ケル暹羅米ノ植付面積ハ一、〇一六六〇町歩ニシテ前年同期ニ比較シ七四一〇町歩ノ増加ヲ示セリ

一 滿州米

滿鐵調査ニ依レバ本年ハ氣候不順ニシテ降雨多カリシ爲作柄悪シク八月二十三日現在、豫想收穫高ハ水稻一四一、七七噸陸稻一四〇、〇六噸計ニ八一、二四一噸ニシテ前年ニ比較スルトキハ四〇、一四九噸(一割二分)減少ヲ示セリ

一 支那米

詳報ヲ缺クモ主産地タル揚子江沿岸一帯ハ作柄良好ヲ傳ヘラル

十九 本年度麥作況及實收高

(1) 麥作作況

北海道、東北、北陸ノ一道ハ縣ヲ除キタル三府三十五縣ニ於ケル作況次ノ如シ
本年ハ播種以來氣候概シテ順調ナリシヲ以テ成育良好ニ進ミ作柄良好ヲ豫想セラレタルモ其ノ後成熟期ニ於ケル天候順調ナラザリシ地方アリ且一部地方ニ於テハ風水害又ハ病虫害ヲ蒙リタルモノアリシ為實收高ハ左記ノ如ク前年實收高ニ比シ僅ニ增收ヲ示スニ至レリ

(2) 本年實收高

大麥	五、九七九、五三一石
裸麥	六、四五八、二八四石
小麥	五、八九一、三〇〇石

計 一八三二九、一五石

之ヲ前年實收高ニ比スレバ

大 麥 九八七六四石 (一分七厘) 増

小 麥 一〇、九五四石 (一分七厘) 増

計 二八六九八一石 (一分六厘) 増

前五ヶ年平均收穫高ニ比スレバ

大 麥 一一一六五一石 (一分九厘) 増

小 麥 一八九〇三七石 (三分三厘) 増

計 五七、九八九石 (三分二厘) 増

大 麥 二四二六九九石 (三分六厘) 減

小 麥 一八九〇三七石 (三分三厘) 増

計 五七、九八九石 (三分二厘) 増

昭和七年十二月十五日

第四十一回米穀委員會報告事項